

 Data Privacy
BE DATA SAFE



プライバシーポリシー

SGS



個人情報を
公正かつ合
法的に収集
すること

目次

4 CEOのご挨拶

5 適用範囲

6 SGSプライバシーポリシー

CEOのご挨拶

通常の業務において、また、業務を効率的に運用するため、SGSは、顧客、仕入先、社員、ウェブサイト利用者、採用応募者、契約先、株主、提携先及びその他の外部企業から個人情報を収集しています。

SGSは、個人情報は慎重に扱われなければならないことを認識しています。当社は、事業を展開する国において関連するデータ保護及び個人情報法令を遵守し、最も倫理的な行動基準に沿い、事業運営に取り組んでいます。

個人情報保護は、当社の事業の全ての部分に対して重要であると考えています。個人情報保護は、信頼を維持するために不可欠であり、顧客との約束にとどまらず、価値観、原則、行動及び成功の核として位置付けています。

規則を厳格に運用し、当社の業務に電子化を推進することは、当社の顧客や業界に対して、現代の生活の最重要領域の1つである個人情報保護において、SGSの高潔性を喚起する機会となります。

本方針についてご質問やご意見がございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。privacy@sgs.com.



適用範囲

SGSプライバシーポリシーは、SGSグループの全グループ会社に適用されます。本方針は、SGSの顧客、仕入先、社員、ウェブサイト利用者、採用応募者、契約先、株主、提携先及びその他の外部企業の個人情報を収集し、処理し、管理する際に社員、役員及び取締役求められる行動を規定しています。

本方針は、3つの基本となる取り組みから構成されています。

1. 個人情報を公正かつ合法的に収集すること
2. 個人の権利や選択を尊重すること
3. 責任を持って安全に個人情報を管理すること

個人情報は、個人に関する情報を意味し、とりわけ以下の内容を含む場合があります。

連絡先情報(名前、自宅及び勤務先住所、電話番号、メールアドレス)、個人情報(誕生日、国籍、写真、クッキー、IPアドレス及びパスワードなどの電子的な身分証明情報)、職業及び勤務先情報(教育や研修)、金融情報(納税証明や銀行口座番号)。

本方針は、現地の法律において強制力を有し厳格性の高い規則が存在しない場合に適用されるSGSの基準を規定しています。SGSの社員には、例外なく、本方針の遵守が義務付けられ、違反した場合は、懲罰が課されます。

社内の運用規則、運用方針及び研修では、本方針を遵守するために必要な文書資料が提供されています。

SGSプライバシーポリシー

3つの基本的な取り組み

個人情報を公正かつ合法的に収集すること

収集、利用される個人情報について公然と対応すること

当社は、個人情報の利用について各自に通知します。

SGSが個人情報を収集する際は、収集する個人情報の性質及びその扱いに関し、明確、誠実かつ透明性の高い形で通知します。ただし、SGSに適用される法律又は秘密保持義務により、SGSが個人情報の収集及び保持について個人に通知しないよう要求される場合を除きます。

個人情報を合法的かつ特定の目的のみに利用すること

当社は、合法的な理由がある場合のみ、個人情報を収集し、処理します。

SGSは、(i) 有効かつ通知を受けた上での同意の範囲、(ii) 契約締結、支払や入金処理、契約義務の履行及び法令や規制上の義務順守等、SGSの正当な業務上の利害において必要とされる場合にのみ個人情報を収集し、処理します。

当社は、同意者が同意内容を撤回することを認めます。

個人情報の収集及び利用に関する個人の同意は、自由な意思に基づくべきであり、かつSGSがデータ利用に関する明確な情報を提供した場合の回答として行われるべきものです。当該個人は、そうした同意をいつでも困難なく撤回することができます。なお、同意の日付、内容及び有効性は、常に文書化しておく必要があります。

当社は、データ管理者の指示に従います。

本方針に加え、SGSは、顧客又は第三者(データ管理者)に代わって個人情報を処理する際、データ管理者の運用方針及び指示に従います。

データ品質を確保すること

当社は、個人情報を収集、保存し、個人情報が過剰ではなく、目的に対して適切で、関連性があり、最新かつ正確であることを保証します。

SGSは、データ使用に対する当初の目的に必要な最小限となる個人情報を収集し、保管します。

SGSは、所有する個人情報を意図する目的に関連し、適切な状態となるよう管理します。

SGSは、全ての保存情報が最新かつ正確であることを保証します。また、必要に応じて情報の修正や改変を行います。

当社は、以下の場合にのみ個人情報を使用し、二次使用又は更なる処理を行うことがあります。

SGSは、新しい目的が当初の目的と一致する場合、SGSが新たな同意を得た場合、又は、新しい目的に対して新しい法的根拠を確立した場合、二次的な目的又は更なる処理のために個人情報を使用することがあります。

当社は、本当に必要な期間のみ個人情報を保管します。

SGSは、個人情報を目的に必要な期間のみ保管し、個人情報が削除、破棄、不特定化、又は匿名化されるまでの期間を文書保存方針にて定義します。

個人の権利や選択を尊重すること

個人の権利を尊重すること

当社は、個人情報に関連する個人からの依頼に対応します。

SGSは、以下に対する個人の権利を認めています。

- (i) SGSにより処理された個人情報の閲覧を要求し、その写しを受領すること
- (ii) 不正確または不完全な個人情報の更新又は修正を要求すること
- (iii) 個人情報の消去を要求すること
- (iv) 個人情報の処理に反対し、又は、その処理を制限するよう要求すること
- (v) 個人情報のデータポータビリティ権を要求すること
- (vi) SGSが個人情報の収集や処理を行うことに対する同意を撤回すること(ただし、撤回前に行われた処理の合法性に影響は及ぼさない)

SGSは、適用される個人情報保護法令に基づき、合理的な期間内に行われる要求、撤回及び異議を尊重します。これらの権利は必ずしも絶対的なものではありません。常に認められるわけではなく、応じられない場合もあります。要求に応じられない場合、SGSは、その理由を説明します。

個人の選択を尊重すること

当社は、営業目的で個人情報を使用する場合、明確かつ明瞭な表現で個人に知らせます。

SGSは、既存及び将来的顧客の選択を尊重し、以下のとおり対応します。

- (i) 適用法令の要求に基づき、明

示的かつ特定の事前同意を行った場合、又は、SGSが正当な業務上の目的により権利があることを示すことができる場合、SGSは、営業上の告知のみ行います。

- (ii) 特定の詳細設定、オプトアウト又は営業目的のデータ利用を拒否する旨をSGSに通知した場合、SGSは、営業上の告知を行いません。

要配慮個人情報の使用を保護すること

当社は、絶対的に必要とされる場合のみ、要配慮個人情報を利用します。

SGSは、個人情報の中により高い水準の保護を必要とする要配慮個人情報であることを認識しています。要配慮個人情報には、個人の身体的、精神的健康及び障害、生体認証及び遺伝情報、宗教的及び政治的意見、人種的及び民族的出自、労働組合及び同様の団体、性同一性及び性表現、性的指向、犯罪歴並びに関連して適用される個人情報保護法令により特に保護されるその他の情報が含まれます。

SGSは、以下のいずれかの場合において、絶対的に必要となるときにのみ要配慮個人情報を収集し、処理します。

- (i) 個人が要配慮個人情報を使用することに明示的に同意した場合
- (ii) 労働法、その他の法的義務(予防医学や産業医学、社員の勤務能力の評価等の目的)を遵守するため、又は、特定の個人の重大な利益(医療上の緊急時等)又は適用される個人情報保護法令にて許可されるその他の状況を保護するため、SGSが要配慮個人情報を使用する必要がある場合
- (iii) SGSが要配慮個人情報の閲覧を承認された個人のみにより制限し、不正な閲覧、使用、配布を防止するための適切な手順と保護措置を導入している場合

責任を持って安全に個人情報を管理すること

適切なセキュリティ対策を行うこと

当社は、個人情報保護のための適切な技術的及び組織的セキュリティ対策を着実に実施しています。

SGSは、個人情報の機密性、完全性及び利用可能性を確保し、データの不正又は違法使用、変更、破壊及び開示のリスクを防ぐために適切なセキュリティ対策を実施しています。これらの保護対策は、SGSが蓄積する特定の個人情報に関連した個人へのリスクを考慮した影響評価に基づきます。こうした対策には、処理の種類及び保護される情報の性質に合わせたセキュリティ及び組織的な対策が含まれます。

当社は、個人情報の侵害が発生した場合、影響を受ける個人及び関連当局に通知します。

SGSは、個人情報が漏洩となるようなプライバシー違反を速やかに個人に知らせ、そうした事案について、適用法により要求される関連当局に報告します。

当社は、仕入先や提携企業においても適切かつ同等のセキュリティ対策を取るようしています。

SGSは、仕入先及び再委託先に対し、SGSデータプライバシーポリシー、適用される個人情報保護法令及びプライバシー法令を完全に遵守するとともに、個人情報の保護を確保するための適切な技術的及び組織的セキュリティ対策を維持することを要求します。

当社は、社員が個人情報処理の機密性を維持するようしています。

SGSは、個人情報の使用を当該個人情報に関連する特定の業務を行うために必要とする社員に限定しています。

個人情報を使用する必要のないSGSの社員を含め、個人情報が許可されていない者に共有されず、開示されないよう、必要な啓発及び研修を実施します。

国外への情報の移動に対する適切な保護を確保すること

当社は、個人情報の移動前に保護対策を講じるようしています。

(i) 業務上正当と考えられる場合、(ii) 個人情報が引き続き、移動元となる国で要求されるのと同等の保護水準で安全対策が取られる場合、SGSは、SGSグループの内外で国境を越えて個人情報を移動することがあります。

個人へのリスクの影響を最小化すること

当社は、処理が個人にとって高いリスクを生じるおそれがある場合、個人情報保護の影響評価を実施します。

SGSは、リスク排除や緩和を行うべく、個人情報の処理が個人のプライバシー権利に及ぼすおそれを特定するために個人情報保護の影響評価を実施します。

個人情報保護の影響評価は、SGSの新規業務又は新規事業の開発や買収案件の一環として行われます。

When you need to be sure

SGS Société Générale de Surveillance SA
Zugerstrasse 57
6340 Baar
Switzerland

sgs.com



SGS